

# 幕末維新を生きた旅の巨人 松浦武四郎

— 見る、集める、伝える —

2018年6月30日(土)～8月26日(日)

観覧時間/9:30～17:00(入場は16:30まで) \* 休館日: 毎週月曜日(7/16は開館)/7/18(水) \* オープン初日(6/30)のみ12:00開場。

北海道博物館  
特別展示室

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 電話:011-898-0456  
<http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp>



(静嘉堂所蔵)

武四郎唯一の肖像写真に写る  
大首飾り、北海道初公開!



特別展観覧料: 一般1,000(850)円 高校・大学生350(250)円 特別展示・総合展示観覧セット券: 一般1,300(1,200)円 高校・大学生450(400)円

\* ( )内は10名以上の団体または割引券をお持ちの方の料金です。\* 中学生以下、65歳以上の方は無料。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業  
\* 障がいのある方は無料。入館の際に障害者手帳などをご提示ください。\* 高校生は、土曜日は無料。

主催: 北海道博物館 共催: 松浦武四郎記念館、朝日新聞北海道支社、北海道新聞社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、NHK札幌放送局、一般財団法人北海道歴史文化財団  
協力: 松阪市 後援: 北海道アイヌ協会、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、TVhテレビ北海道、STVラジオ、AIR-G'エフエム北海道、FMノースウェーブ

【巡回情報】○三重展: 9月15日(土)～11月11日(日) 三重県総合博物館 ○帯広展: 12月15日(土)～2019年2月11日(月・祝) 北海道立帯広美術館





●**展示構成**

プロローグ：一畳敷

第1章：〈旅の巨人〉武四郎の誕生

第2章：〈憂北の志士〉武四郎

—蝦夷地への旅とアイヌ民族—

第3章：〈情報通〉武四郎

—幕末の動乱の中で—

第4章：〈北海道の名付け親〉武四郎

—明治維新と「北海道」の命名—

第5章：〈旅の終焉〉武四郎の晩年

第6章：〈蒐集家〉武四郎

エピローグ：ふたたび一畳敷へ

見る、集める、伝える—  
**松浦武四郎**  
幕末維新を生き抜いた旅の巨人

〈北海道の名付け親〉と呼ばれる松浦武四郎(1818~1888)。伊勢国(現三重県松阪市)で生まれ、幕末期にロシアとの国境問題で揺れた北海道を6回踏査し、アイヌ民族の生活状況などを克明に記録したことはよく知られています。彼はまた、幕末の志士や政治家、学者、文人との幅広い交流の中で〈情報通〉や〈蒐集家〉としても有名だったことなど、これまであまり知られていない顔も持っています。強い好奇心と情熱のもと、旅に生き、幕末維新という激動の時代の諸相を集めて、伝えようとした、その希代の生涯をたどります。

●**関連行事**

●**講演会**

「武四郎の道は未来へと続く」

講師/山本命氏(松浦武四郎記念館)

日時/7月1日(日) 13:30~15:30

会場/当館講堂(定員80名) 参加無料

「1818—生と死」

講師/佐々木利和

(北海道博物館アイヌ民族文化研究センター非常勤研究職員)

日時/8月12日(日) 13:30~15:30

会場/当館講堂(定員80名) 参加無料

●**フォーラム**

「松浦武四郎研究のこれまでとこれから」

基調講演/田端宏氏(松浦武四郎研究会会長)

パネリスト/五十嵐聡美氏(北海道立近代美術館)

内川隆志氏(國學院大学)

太田光俊氏(三重県総合博物館)

谷本晃久氏(北海道大学)

コーディネーター/三浦泰之

日時/8月26日(日) 13:30~16:30

会場/当館講堂(定員80名) 参加無料

●**ミュージアムカレッジ**

「特別展 ここが見どころ!」

講師/三浦泰之

日時/7月14日(土) 13:30~15:30

会場/当館講堂(定員80名) 参加無料

「武四郎リレー講座」

① 7月22日(日)「動物と植物のお話」 講師/表深太、水島未記

② 8月 5日(日)「漁業と考古遺物のお話」 講師/会田理人、鈴木琢也

③ 8月19日(日)「貝とアンモナイトのお話」 講師/圓谷昂史、栗原憲一

\*各回13:30~15:30、会場は当館講堂(定員80名)、参加無料

※講演会、フォーラム、ミュージアムカレッジにご参加の方は、お電話(011-898-0500)でお申し込みください。申し込み受付は、各行事開催日の1か月前頃に開始します。詳しくはウェブサイトでご確認ください。

●**ミュージアムトーク**

① 7月16日(月・祝)「松浦武四郎が書いたアイヌ文化」 講師/遠藤志保

② 8月11日(土・祝)「〈蒐集家〉武四郎と考古遺物」 講師/鈴木琢也

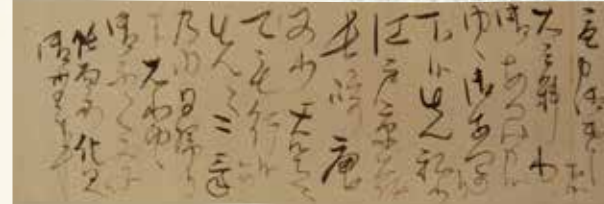
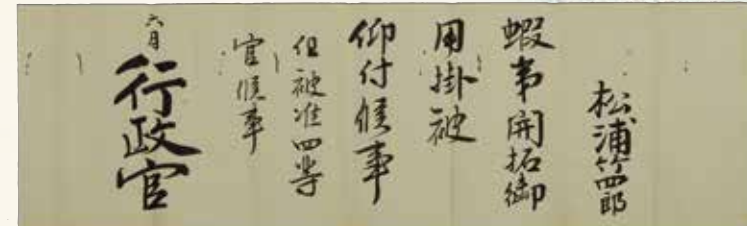
\*各回13:00~13:30、会場は当館特別展示室(定員約20名)

\*申し込み不要、直接会場にお越しください。特別展の観覧料が必要です。

**子ども体験展示室「武四郎を楽しもう!」**  
同時開催  
会場/北海道博物館 記念ホール  
入場無料  
巨大な地図や双六などで武四郎の旅を体感しよう!

○**交通案内**

- バス:  
JR新札幌駅・地下鉄新さっぽろ駅から…  
・バスターミナルのりば⑩(北ライン) ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車、徒歩1分。  
・バスターミナルのりば⑩⑩(北ライン) ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス 大塚・野幌・江別方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車、徒歩15分。  
JR森林公園駅から… 駅東口バスのりば 上記「開拓の村」行きのバスが森林公園駅に寄ります。徒歩の場合は20~25分。  
江別・野幌・大塚方面から… JR北海道バス・夕鉄バス 新札幌方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車、徒歩15分。  
●タクシー:JR新札幌駅・地下鉄新さっぽろ駅から約10分  
●自家用車で越しの方へ:駐車場(北海道博物館駐車場、百年記念塔前駐車場)は無料です。ただし、数に限りがありますので、混雑時にはお待ちいただく場合もあります。



- 1 印章「馬角齋印」 明治期 (松浦武四郎記念館所蔵)
  - 2 下田日誌 安政元年(1854) (宇和島伊達文化保存会所蔵)
  - 3 裝飾台付壺 古墳文化(静嘉堂所蔵)
  - 4 辞令 明治2年(1869)6月付 (松浦武四郎記念館所蔵)
  - 5 木製小箱 江戸期(松浦武四郎記念館所蔵)
  - 6 田村將軍肖像 年代不詳(静嘉堂所蔵)
  - 7 松浦武四郎書簡 天保4年(1833)2月3日付 (松浦武四郎記念館所蔵)
  - 8 北野天満宮奉納神鏡背面拓本 明治8年(1875) (十勝毎日新聞社所蔵)
  - 9 アイヌ舞踏の図 江戸後期~明治期 (北海道博物館所蔵)
- 背景:北海道国郡図 明治2年(1869) (高木崇世芝氏所蔵)